

壇の岡

10月11日(金) 第64号
発行責任者 鮫川中学校長 角田敏文

教育目標

学ぶ心 よく学び自己を高める生徒
美しい心 豊かな心 思いやりがある生徒
強い心 心身を鍛えたくましい生徒

テスト後が大切

定期テストの結果が返却されてから、テスト前はがんばって勉強していたのに、テストを受けて結果を見たときに、「よかった」「悪かった」と終わりの後はほっとした。このように人はほっとした。テストは、結果を見て一喜一憂したり、人と成績を比べるために、文字通り定期的に行われるテストです。定期的に学習した内容がどれだけ定着しているか、どこまで理解できているかを知ることが大切です。テストに向けての取り組みやテスト結果も大事ですが、テスト後の学習がそれ以上に大切です。テストでできなかったところは確認(分析・反省)することは、学習の力を伸ばすための大切な機会です。その分析に見合った計画や戦を立て、復習(やり直し)をして、できるような努力や次の学習につながるように努力(練習)をすることが重要です。日々の努力の積み重ねは、必ず学力の向上につながります。

①計画作成と勉強をしたか？
②弱点が確認できたか？

ご家庭で確認してください。

経験が財産

壇の岡祭は、事前の準備が大変で、細かい動きの確認などが必要で、合唱練習、学年発表練習、各部門(7部門)を全校生で取り組んでいきます。学年発表では、学年の役員としての役割・分担、各部門の中での役割・分担が生徒一人ひとりにあります。14歳で大学に入る資格を得たり、能力によって2・3年上のクラスに入ったり。日本にもそれを取り入れようという意見があつたように、多くの議論を経ないまま立ち消えになった人々には、その年齢に応じた経験が必要で、その年齢からできる価値のあることがある。年齢相応の体験、経験が人を成長させるから、感動する心、またその「思いを共有する仲間」です。

壇の岡祭は、いろいろな経験ができて、失敗も成功も感動も増やしてほしいです。自分の経験による「財産」を

みんなのために

サッカーの90分の試合でボールに触れている時間はどれくらいだと思いませんか？答えは、2分、3分です。どんなに優れた選手でも、圧倒的に「オフ・ザ・ボール」の時間が長く、その間に全体の動きをよく見ながら「チームにとつて何が最善の動きなのか」を考え、判断してプレーしているのです。これは、何もサッカーに限らず、競技するスポーツでは、競技時間的大部分を自分のためのプレーに費やすことが多いのではないのでしょうか。

では、学校生活はどうでしょう。自分が中心になつて活躍する場面もありません。仲間を励ましたり、手伝ったりすることもあります。その時々には、様々な集団に属して、その時々には、様々な立場で活動します。学級の一人として、委員会の一人として、当番の一人として、部活動の部員として、(大人もそうです)その時々には、自分が何をするかがみんなにとって大切なのか、どうすることがベストな行動なのかを考え、実行することが大切だと思えます。自分のことだけでなく、周りのことも考えて行動で

21	20	19	18	17	16	15	14
月	日	土	金	木	水	火	月
振替休日		壇の岡祭 弁当・部活動中止	壇の岡祭準備・部活動中止	壇の岡祭準備・部活動中止	壇の岡祭準備・部活動中止 おにぎり給食	壇の岡祭準備・部活動中止	スポーツの日

週の行事予定

きる、そんな人が増えれば、学校もより居心地がよくなり、よりよい集団へと成長していきます。「一人はみんなのために、みんなは一人のために」。自分の周りに人がいるのではなく、人の中に自分がいることを忘れないでください。それができれば、学級・校中の結束はさらに強まり、最高の壇の岡祭になると思います。



こちらから各学年だより等がスマートフォンからもご覧できます。